

野付の千島桜樹勢回復業務報告書

2021年11月 樹木医 金田正弘

1. 野付の千島桜1回目の手入れ

野付小学校の千島は、2021年の春5月1回目に手入れを実施しました。期間は、5月23日～27日の5日間でした。

(1) 着工前・完成（全景）



着工前（北側）



完成



着工前（東側）



完成



着工前（南側）



完成



着工前（西側）



完成



野付の千島桜の景観（2021年5月27日）

(2) 今年の開花状況



野付の千島桜の開花（2021年5月13日）

（別海町戸田氏提供）

千島桜の開花は、5月8日～9日のようでした。画像は、ほぼ満開の状況と思われます。年々開花時期。が早まっているようです。

(3) 薬剤散布の処置



殺菌剤散布用具及び薬剤

作業開始の 23 日は、日曜日で過年度の実績と異なる工程になりました。したがって、手入りに先立ち薬剤散布の作業から始まりました。幼果菌核病の葉腐れ、実腐れ予防処置として、トップジン M 水和剤 (粉状) と展着剤 (ダイナ) を使用しました。



薬剤の散布状況

(4) 根系周辺の施肥

① 土壌改良資材及び肥料



まるやま 3号、イーグル



くん炭、赤玉土、鹿沼土

林業用固形肥料のまるやま 3号、高度化成肥料のイーグルを使用しました。土壌改良資材は、くん炭、赤玉土、鹿沼土を使用しました。



火山礫、堆肥



ピートモス

さらに、火山礫（苫小牧産）、堆肥、ピートモスを混合土作成用として使用します。

②混合土作成



各種資材入れ



混合状況



混合土完成

土壌改良資材のうち、火山礫、堆肥、ピートモス、くん炭、赤玉土、鹿沼土をよく混合し、混合土を作りました。

③穴あけ施肥作業



穴あけ（金棒使用）



まるやま 3 号施用



同左全景



混合土施用



イーグル施用



施肥完成

外柵沿いの草を剥、金棒を使用し 10~20cm の深さで穴を開けます。まるやま 3 号固形肥料（遅効性）を 3~5 個入れます。混合土で穴を埋め、イーグル（高度化成肥料、速効性）を 10~20 g 施用し完成です。

(5) 枝切り作業



長手ハサミ使用の枝切り



長手ノコ使用の枝切り

樹冠部の枯枝、てんぐ巣病被害枝、不用枝等の枝切りを実施しました。枝の切口は、保護剤トップジンMペーस्टを塗布しました。

(6) 根系周辺の実生苗



実生苗の発生



ポット苗の作成

根系周辺は、除草、清掃します。毎年多くの実生苗が発生します。9cmポットに移植し、ポット苗を作りました。学校で活用するそうです。

(7) フジミン液の散布



フジミン



フジミン液の散布

フジミンは、植物生長促進剤です。根系施肥の後、フジミン 500 倍液を散布しました。施用した肥料、土壌改良剤の効果を促進します。

(8) 地際周辺の着工前、完成



着工前



完成



着工前



完成



着工前



完成

(9) 野付の千島桜幹の景観



南側の幹



西側の幹



北側の幹



東側の幹

目線で見ると野付の千島桜です。野付を象徴する地際周辺の太い幹の景観です。四方全て、独特な形で異なります。この大きさ、長さ、形状は、他に見たことがありません。千島桜を代表する景観と言えるでしょう。

(10) 国旗掲揚塔前のエゾヤマザクラてんぐ巣病の処置



着工前



完成



着工前



完成



着工前



完成

野付小学校周辺には、多くの桜（千島桜、エゾヤマザクラ）があります。以前より気になっていたエゾヤマザクラがあり、てんぐ巣病の激害木になっていました。被害枝を全て切除し、切口に保護剤を塗布しました。根系周辺の施肥も実施しました。

2. 野付の千島桜 2 回目の手入れ

千島桜 2 回目の手入れは、10 月 27 日～31 日の期間で実施しました。28 日（木）は、終日強風に見舞われましたが他、比較的暖かな作業実施になりました。

(1) 着工前・完成



着工前（北側）



完成



着工前（東側）



完成



着工前（南側）



完成



着工前（西側）



完成

(2) てんぐ巣病被害枝の処置



てんぐ巣病の被害枝—1



てんぐ巣病の被害枝—2





切除した被害枝

若いてんぐ巣病被害枝は、樹冠内部に所所発生していました。1~2以外の小さな被害枝も含め、できるだけ見つけたし切除しました。切除した被害枝は、場外処分しています。

千島桜に発生するてんぐ巣病は、根絶が難しいようです。定期的（年2回程）な観察と処置の実施が望まれます。

(3) 地際周辺の着工前、完成



着工前（北側）



完成



着工前



完成



着工前



完成

(4) 根系施肥作業

① 土壌改良資材及び肥料



まるやま 3 号、イーグル、火山礫



ピートモス、くん炭、堆肥

肥料成分の資材は、まるやま 3 号固形肥料（林業用 3-6-4）、イーグル（高所化成肥料 15-15-15）、堆肥（牛糞）を使用しました。

土壌改良資材として、火山礫（苫小牧産硬質）、ピートモス（泥炭）、くん炭（もみがらくん炭）を使用しました。

② 施肥—1



穴あけ作業



まるやま 3 号施用



混合土施用



イーグル施用



施肥完成



東側施肥完成

③施肥—2



穴あけ



まるやま 3 号施用



混合土施用



イーグル施用



施肥完成

施肥—1～2 は、金棒で無数の穴を根系周辺にあけます（10～15cm の深さ）。まるやま 3 号固形肥料（遅効性）を 2～3 個入れ、混合土を充填します。最後に、イーグル（高度化成肥料、早効性）を 20 g 内外散布し完成です（②～③）。

④堆肥の施用



堆肥施用



堆肥拡大



堆肥北側完成



堆肥南側完成

⑤その他土壌改良資材の施用



くん炭の施用



ピートモスの施用

その土壌改良剤の施用は、堆肥（牛糞）、くん炭、ピートモスをそれぞれ②～③の上層に施用し、施肥を完成しました。

⑦施肥の完成



施肥完成（西側）



施肥完成（東側）

(5) せん定作業



長手ノコ使用の枝切り



長手ハサミ使用の枝切り



切口の保護剤塗布



(5) 支柱の設置



杉皮、支柱



支柱の設置



支柱設置完成

(6) 薬剤散布



幼果菌核病（葉腐れ）



薬剤散布一式



トップジン M 水和剤



薬剤散布状況

年 2 回の殺菌剤（トップジン M 水和剤）を散布しています。依然として幼果菌核病（葉腐れ）症状が散見されています。継続した処置が必要と考えます。

(7) 花芽の形成



花芽形成状況

千島桜の花芽は、9 月中に形成されます。今年も順調に仕上がっているようです。来年 5 月きれいな開花を期待しています。

(8) 上から見た幹周辺の景観



野付の千島桜幹周辺の景観

樹冠部の上部枝切り時に見た野付の千島桜根元周辺幹部の景観です。何本も外柵に向かって太く、長く伸長する異様な景観を呈しています。この桜の持つ固有の特徴と言えるでしょう。

3. あとがき

野付の千島桜は、令和3年5月、10月と2回の手入れが無事終了しました。今年度は、比較的天候に恵まれ順調な作業ができました。近年、樹冠部の枝が多く目立ち雪、風折れ等の被害防止として、枝抜き作業を実施しました。将来は、樹高6mの樹高を縮伐（少しずつ縮めて樹高を下げる）処置の実施を考えています。毎年5月の開花状況を観察し、処置の実施を考えるようにしたいと思います。